

遊技機委員会

9月16日
本部会議室
出席委員等12人

出展面積の拡大確保へ

来年4月の「ニコニコ超会議4」

来年の「ニコニコ超会議4」(4月

25、26日、千葉・幕張メッセ)に、「パチンコ&パチスロフェスタ2015」のブースを設け、パチンコ・パチスロ機を出展させる計画案が、第2回定例理事会(7月17日)

で承認されたことを受けて、出展面積を12×15mに拡大させることを確認した。9月中旬に主催者側にその旨を申し込む。さる4月に行われた「ニコニコ超会議3」(26、27日)の規模は9m四方で、パチンコ7台、パチスロ9台を設置し、2日間で当初予想を大幅に上回る3146人が来場、試打を楽しんだ。

来年予定する企画内容は遊技機の展示・試打、ステージイベントで、ノンユーザーの若者たちに対して業界の認知拡大を図るとともに、パチンコ・パチスロに触れるきっかけづくりをめざしたいとしている。遊技産業活性化委員会の遊べる遊技機検討WG(仮称)に積極的に提案していくことを申し合

わせた。

警察庁が8月28日に日電協、日工組に通告した5号機の試射試験方法の変更に関連して、情報交換と現状の整理をした。

風営法PT

9月9日
本部会議室
出席委員等6人

改正案の内容を確認

「本籍の記載義務廃止」

従業員名簿から本籍の記載義務を廃止する内閣府令の改正案、個人情報保護についての警察庁要請(ともに本誌9月号で既報)について、内容が改めて説明された。

内閣府令の改正案は第20条(従業員名簿の記載事項)、第21条(確認事項)に関するもので、このうちホールの関係は第20条。従来の記載事項から「本籍(日本国籍を有しない者にあつては、国籍)」の記述が削除された。

この件に関しては、以前から風



風営法での規制緩和の要望事項を検討した風営法PT

営法PT及びホール関係5団体風営法ワーキンググループが改正を要望していた。警察庁はこの改正案へのパブリックコメントを9月20日締め切りで公募しているところから、日遊協は各支部宛に意見関連しての要望があれば提出するよう求めた。

また、ダンス営業に関して、風営法第13条の営業時間緩和の動きについて報告があった。このほかの風営法でのさらなる規制緩和の要望事項について検討した。

広報調査委員会

9月9日
本部会議室
出席委員等12人

最終的な設問調整

「ファンアンケート調査」で

「14パチンコ・パチスロファンアンケート調査」(ホール来店客調査)の設問の最終的な設問などの調整を行った。調査は全国の日遊協会員ホール、並びに東京都遊技業協同組合と九州地区遊技業組合連合会の協力で、ホール繁忙期を避けた10月下旬〜11月上旬に実施される。12月までに報告書(案)を完成させ、来年1月8日の第5回定例理事会に提出される予定となっている。

今後の広報調査委員会の展望について意見を出し合った。



ファンアンケート調査設問を最終調整した広報調査委員会

第12回人材育成フォーラム

九州で初の地方開催 49人が参加して

経営者・幹部ら

人材育成委員会と日遊協九州支部の共催による会員勉強会(第12回人材育成フォーラム in九州)が9月12日、福岡市の遊技会館会議室で開かれた。ホール、販社を中心に九州地域の経営者・幹部計49人が参加した。九州支部では、支部会員相互が情報を共有し組織の拡大と充実を図る目的で会員勉強会を開いているが、今回は人材育成フォーラムとのコラボ企画となった。

「人事部とオーナーの関係」

前田竜哉委員長が講演

教育研修業や公開セミナー運営



講演する前田竜哉氏

などを手がけるデライト・コミュニケーションズ(株)取締役、前田竜哉氏(人材育成委員会委員長)が、「トップが人事へ、未来を」を要求するのは、今！企業存続の鍵は「人事部門」にあり」と題して講演した。

前田氏は、「人と会社を元気にするのが人事部のミッション」と強調し、「だが、人事部の心理としてオーナーが苦手です。オーナーは人事部と密に情報を共有し、人事部への要求は具体的にはつきりで行う。一番のサポーターとして人事部をバックアップしてあげてください」と述べた。

その上で、①キャリア形成促進助成金、雇用調整助成金、キャリアアップ助成金など人材育成をバックアップする助成金の活用 ②アベニミクスによる処遇アップと税制優遇 ③人材費統制による事業貢献——をテーマに話を進めた。関連して、ユニバーサルデザインのコサルティング企業(株)ミライの担当者が「ユニバーサルマナーによるホスピタリティマイナード醸

成」と題して短い講演を行い、社会貢献と経済活動の両立を説いた。

参加者たちは、「役職定年制度」「賞与の一部を給与に上乘せする仕組み」「各種助成金の活用」などの身近な対策について熱心にメモを取っていた。講演終了後、参加者と人材育成委員会メンバーと懇親会が開かれ、活発な意見交換があった。

人材育成委員会

9月12日
九州支部会議室
出席委員等9人

「マネカレ」詰めの協議

佐々木主浩氏の講演など

今年後半から来春にかけて、人材育成委員会の主管で開催される3つのイベント(マネジメント・カレッジ、人材育成フォーラム、パチンコ産業合同説明会)について意見交換した。

11月20～21日に東京・晴海グラインドホテルで開催される「第8回遊技産業マネジメント・カレッジ」での進行などの担当者を決めた。特別講演者の一人、佐々木主浩氏(元・大洋ホエールズ、シアトル・マリナーズ投手)が講演で触れる質問事項等を検討した。今

回はメインテーマ「新規ユーザー獲得へのチャレンジ」、サブテーマ「ターゲット2020年・20歳」となっている。グループワークではこのテーマに沿って、東京五輪・パラリンピックがある2020年に向けてパチンコ業界の活性化を図るために、とくに若い遊技人口が増えている状態にすること、若い人が遊技したくなる状況をつくること——などを2日間にわたって議論する。2日目の最後にグループごとのプレゼン大会が行われ、金・銀・銅賞の優秀3グループが決まる。

12月上旬に日遊協本部会議室で開催予定の第13回人材育成フォーラムの内容を検討した。フォーラムの対象は中堅クラスの人事担当者。今回は採用についてのテーマが予定されている。

来年3月7日、東京ビッグサイトの「リクナビSUPERSTARトアップ★ライブ」に出展するブース「パチンコ産業合同説明会」の規模、内容等を検討した。今回の委員会は、「九州勉強会(第12回人材育成フォーラム in九州)」開催のため、九州支部の事務室で開かれた。